

令和8年度第1回福井支部評議会 議事概要報告

開催日時	令和8年7月22日（水）10：00～11：30
開催場所	全国健康保険協会福井支部会議室（福井県織協ビル9階）
出席評議員	伊藤評議員、木村評議員、クロダ評議員、田中評議員、野崎評議員、平工評議員、堀川評議員、松本評議員（五十音順）
議題	（1）2025年度（令和7年度）決算について （2）令和7年度福井支部事業実施結果について （3）コミュニケーションロゴ・タグラインの導入及び中期戦略プランについて （4）都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて
議事概要 （主な意見等）	（1）<u>2025年度（令和7年度）決算について</u> 事務局より資料に沿って説明 【学識経験者】 収支差の全国平均分とは、単純に全支部の収支の平均ということか。また、収支差の算出において、人口構成等での調整はされているものなのか。 【事務局】 各支部の全国平均分は全国計の収支差を各支部の総報酬で按分したものである。支部の収支差の算出において、年齢や所得による調整を行っている。全国平均分は理論的に算出された収支差であり、実際の医療費等が明らかになったため支部の収支差が算出された。支部の収支差と全国平均分との差が地域差分であり、今回福井支部においては、当初の見込みを上回る医療費が発生した結果として全国平均分の収支差よりも低くなり、来年度の保険料率計算時に加算される見込みである。 （2）<u>令和7年度福井支部事業実施結果について</u> 事務局より資料に沿って説明 【事業主代表】 事業の成果や好事例などは、ほかの都道府県の支部にも共有されているのか。 【事務局】 支部業績評価によって各支部の順位や実施状況が確認できる。また、協会の内部のインフォメーション等を通じて、各支部の独自の取り組みや好事例を掲載し、各支部が相互に参照・活用できる情報共有の環境を整えている。

【学識経験者】

マイナ保険証への移行による返納金減少等の効果は現れているのか。

【事務局】

診療報酬支払基金による、誤った資格での請求を正しい保険者へ振り替える仕組みである振替サービスはあるものの、実際にどの程度振り替えが行われたかの実績は公表されておらず、実務上での実感として大きな変化は見受けられない。また、高額な請求については各種条件により振り替えることができないケースも多く、結果として返納金の調定額自体は顕著な減少に至っていないのが現状である。

【学識経験者】

スタートアップ事例集の活用について、特に小規模事業所にとっては大いに参考になると感じるため、今後の積極的な周知・案内を期待する。

【事務局】

8月28日開催予定の「健康保険委員セミナー」において、来場者への配付を予定している。しかし作成部数に限りがあり、広く一律に配布することは困難であるため、併せてチラシ等を用いた周知を行い、事例集を掲載している支部ホームページへの誘導を行っている。

【学識経験者】

電子申請の利用率について、福井支部での今後の増加見込みについて教えていただきたい。

【事務局】

導入当初は全国でも下位に位置していたが、直近は上昇傾向にある。しかし現状のままでは10%程度で頭打ちとなる懸念があるため、今後は加入者・事業主への周知や呼びかけに加え、社会保険労務士への働きかけなどに注力する予定である。これらを通じて最終的には利用率20%の達成を目指したい。

【被保険者代表】

電子申請について問い合わせをした際、導入当初は対応にもどかしさを感じるがあったが、最近では、問い合わせへの対応に改善が見られる。

（3）コミュニケーションロゴ・タグラインの導入及び中期戦略プランについて

事務局より資料に沿って説明

個別の意見等については、特段なし。

（４）都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて

事務局より資料に沿って説明

【学識経験者】

福井支部でも大きな変動があれば、次回 10 月の評議会で諮るということか。

【事務局】

仮に試算をして要件に当てはまれば 10 月に評議会で諮ることになる。ただ、0.20%はかなりの変動幅であるため、よほどでなければ該当はしないと思われる。

【学識経験者】

国の方針で健康保険料率を下げるような動きがあるが、平均保険料率は当面 9.9%で維持していく方向なのか。

【事務局】

今のところは何とも言えない。ただ収支や準備金の状況を考慮すると引き下げという意見も出てくるとされる。10 月の評議会において、平均保険料率を 9.9%にしたことの影響や診療報酬改定の影響等を踏まえたシミュレーションを提示する予定であるため、ご議論いただきたい。

以上

特記事項

- ・ 新聞社 1 社が傍聴
- ・ 次回評議会は令和 8 年 10 月を予定